

2013 清水台湾遠征



『台灣屏東 v s 日本静岡』青少年足球友誼交流會

屏東縣立長治國中

清水小学生選抜台湾遠征報告

NPO 法人清水サッカー協会
4種技術委員長・本田 忠勝

平成 25 年 8 月 15 日、前日に全国少年少女草サッカー大会を終えた小学生選抜 15 名が静岡空港から台湾に向け出発いたしました。

台湾遠征について以下に報告いたします。

8 月 16 日：桃園→高雄（台湾新幹線）→屏東県立長治中学校（バス移動）

試合終了後に現地チームとの交流会→高雄市内ホテル（バス移動）

現地にて A・B チーム各 2 試合

試合結果

清水 A 1 - 0 台湾 A・清水 B 6 - 0 台湾 B

清水 A 5 - 0 台湾 B・清水 B 6 - 1 台湾 A

出発前日に草サッカー大会を終えたばかりで尚且つ長旅の疲れで体調を心配しましたが 15 名全員が元気に試合をしてくれました。

試合のテーマは 2 日間通じて「戦う」・「ボールを奪う」・「攻撃の広がり」・「準備&予測、攻守の切り替え」の 4 本柱に挑みました。

試合の感想は翌日の試合結果後に述べさせていただきます。

8 月 17 日：高雄→屏東県立長治中学校（バス移動）試合終了後、高雄市内観光
→台北（台湾新幹線）

試合結果

清水 A 3 - 1 台湾 A・清水 B 7 - 0 台湾 B

清水 A 3 - 0 台湾 B・清水 B 6 - 2 台湾 A

2 日間の試合を通じ選手の基本技術は高く感心する所もありましたが、技術に相当する判断が悪かったり、球際であと一步頑張ればボールを奪える、得点に繋がる所で諦めてしまう場面が多く見られました。台湾のチームは 1 学年上の選手もいて体格的、フィジカル的に劣る場合は特に最後まで諦めずにプレーする事が大切になると選手は感じ取ったのではないかと思います。

ただ、2 日間を通じ選手の戦う意識、予測の部分では成長した選手が多かったのは収穫材料だと思います。と同時に今回の試合で浮き上がった反省材料を継続して指導していきたいと思います。

簡単ではありますが試合での感想は以上とさせていただきます。

8 月 18 日：台北→空港（バス移動）→帰国

全体の感想

この遠征ではただ単に試合をするだけでなく、海外の文化や習慣に触れ、日本とは違った環境において生活をする事で感じ取って欲しい「あたりまえ」で

はない部分を選手がいかに感じられるかも、今回の遠征の裏テーマといっても良いと思います。

例えば食事。料理の匂いや見た目だけで食事を残す選手が多く見られました。日本では食べたい物を食べたい時に食べたい量だけ食べる。「あたりまえ」の事が現地では通用しません。試合をする為の体力、栄養を維持する為には食事は重要であります。

次に「自分だけ・・・」の選手が多く見られました。移動が多い中での集団行動。ましては海外での行動で、仲間を気遣える選手が少ないように感じました。サッカーというチームスポーツである事をもう少し意識して行動して欲しいと感じました。

反省点ばかりでなく、良い点もありました。集合時間を守れない選手は一人もいませんでした。また、洗濯機が混雑していて手洗いでユニフォームを洗う。簡単なようですが、現代の子供たちには、なかなか出来ない事だと思います。以上のように、反省点は良い方向に導けるよう、良かった点は更に伸ばして行けるように今後も継続して指導をして頂きたいと思います。

最後になりましたが、今遠征にご尽力を頂いた関係者の皆様に心より御礼申し上げます。また、台湾の皆様のお温かい心遣いにも感謝するとともに御礼を申し上げ、台湾遠征の報告とさせていただきます。

清水トレセンU-15 台湾遠征結果報告

1日目

阿猴聯隊B v s 清水トレセン <結果> 1 - 3

【戦評】

慣れない海外遠征の中で、試合自前の移動時間も長かったということもあり、運動量の少ない立ち上がりとなってしまった。試合前のミーティングで、相手がボールを持った時の動きについて確認をしたが、相手が予想以上にロングボール中心のサッカーをしてきたため、なかなか思い通りの守備ができなかった。また、良い形で相手ゴール前までボールを運んでも、決定的な場面でゴールを奪えないというシーンが続いた。ゴールが奪えないまま時間が過ぎると、相手のカウンターで裏を取られ、失点してしまう。しかし、選手たちは自分たちで戦い方を考え、守備の仕方や攻撃の方法を変化させ、ミドルシュートを織り交ぜた攻撃にすることで3得点を挙げ、なんとか勝利を収めることができた。



2日目

阿猴聯隊A v s 清水トレセン <結果> 3 - 1

阿猴聯隊B v s 清水トレセン <結果> 2 - 4

阿猴聯隊A v s 清水トレセン <結果> 2 - 4

阿猴聯隊B v s 清水トレセン <結果> 0 - 6

【戦評】

ゴール前の局面が多く、展開の速い7人制サッカーになれることができず、1ゲーム目は負けてしまう。自陣ゴール前のリスクマネージメントについて、学ぶことが非常に多いゲームだった。2ゲーム目からは次第に7人制サッカーに慣れていき、技術的に良い面を出すことができた。また、選手たちは、7人制の狭いコートの中でどうしたら相手DFラインの裏をとれるのかを話し合いながら、様々なプレーを試し、4本目のゲームでは何度も成功させていた。いつもとは違う7人制サッカーは、選手たちに多くのことを考えさせ、非常に収穫の多いものとなった。



清水 FC ジュニアユース U15 台湾 Pingtung 遠征を終えて

清水 FC ジュニアユース代表 中村 栄

2013年8月21日、22日の2日間、台湾の長治國中学を会場に、地元6中学の連合チームを相手に、11人制を25分×3本、7人制を20分×8本、試合をさせていただきました。

試合結果は、1日目猛暑の中11人制が5対3、2日目雨天の中7人制が15対4で、清水 FC が勝利しました。試合は、真剣にプ



レーする台湾選手に負けないう、清水のサッカーの技術と戦術の高さを伝えることができたと思います。

今回の遠征で、選手たちは台湾と日本の歴史的つながりと、両国友好の大切さを学ぶことができました。また、温かく迎えてくださった台湾サッカー協会、地元中学の先生方、生徒たちには、とてもお世話になりました。歓迎会でも生徒たちと交流できたことがすばらしかったと思います。雨の中、ボール拾いまでしてくれた女子中学生にも大変感謝しています。

清水 FC としてもチーム全員で、試合後に会場の長治國中学校舎回廊やトイレ清掃を行ない、地元中学の校長先生に褒めていただきました。

今後、いつの日か、台湾 Pingtung の中学生を清水に迎え、サッカーを通して交流ができることを願っています。

清水 FC ジュニアユース U15 試合結果

8月21日 11人制 モンキー連隊B長治國中学 他2中学連合 (25分×3本)

①1対0

②2対1

③2対2 得点合計 5対3

8月22日 7人制 長治國中学 他5中学 (20分×8本)

①1対0 ⑤1対0

②2対0 ⑥2対2

③3対0 ⑦1対2

④3対0 ⑧2対0 得点合計 15対4



清水 FC 対モンキー連隊Bチーム